



和国通信

令和4年度1月号

令和5年1月27日発行



校長 鈴木 啓修

◇Best Wishes for a Successful & Rewarding 2023!



2023年がスタートしました。皆さんそれぞれが「今年こそ～」という“New Year’s resolution”「新年の抱負」を立てたことと思います。この“New Year’s resolution”の定義を Cambridge Dictionary で見てみると “a promise that you make to yourself to start doing something good or stop doing something bad on the first day of

the year” とあります。ここで大切なのは a promise you make TO YOURSELF です。誰にでもない、自分自身に約束をするのです。誰かに高らかに宣言する必要もありません。心の中で密かに、しかしはっきりと自分自身と約束をするのです。ただ文字に残さないと後で忘れてしまうかもしれません。手帳や日記の最初のページにしっかり書き留めて日々、見つめる。とにかく気持ちを新たに、少なくとも自分自身と約束し行動を変えてみる --- とても大切な事だと思います。

◇人間の安全保障と緒方貞子

世界は新しい年を迎えましたが、ウクライナでは戦争が続いています。本当に悲しい事実であり、心が痛くなる思いです。国民一人ひとりの生命や生活を守る責務は本来、国家にあります。しかし、紛争や経済危機に見舞われた国の政府は国民を守る力を失います。緊張の中にも一定の安定性が保たれていた東西冷戦が終わり、この30年間、テロとの戦いや民族間の紛争、経済格差や貧困、そして気候変動による災害や感染症など、人間一人ひとりの生存や尊厳に対する深刻な脅威に私たちは日々、さらされています。



国連難民高等弁務官やJICAの理事長として長年「人間の安全保障」の理念を唱え、世界中を奔走した緒方貞子さんという日本人の生き方こそ、今皆さんには学んでほしいと思います。緒方さんは、国民を守る力を失った国や地域においては、外からの支援を通じて、暴力や人権弾圧などの「恐怖」を絶ち、貧困による食料や水、教育、医療の「欠乏」をなくし、人間の生命、生活、人権を守っていくべきだという強い信念を持ち、大胆に行動し続けた人です。

現在、日本政府は国家としての安全保障政策を大きく転換しようとしています。いわゆる「抑止力」を保有し、他の国に日本を攻撃することを躊躇させ、平和と安定を維持しようという考え方です。この考え方は、現在の東アジアの状況を鑑みれば、必要な議論かもしれません。しかし、これまで日本が一貫して行ってきた「国際協力」を通じての「平和構築」へのぶれない歩みこそが、これからもっと大切になっていくのではないかと私は感じています。皆さんのような若い人たちが、「人間の安全保障」という理念をしっかりと持って、「国際協力」を通じて「平和構築」に向けて力強く歩んで行ってくれることを切に願っています。

◇百人一首大会を開催！

1月12日(木)の午後に体育館で1年生の百人一首大会が行われました。それぞれのクラスを約40チームに分け、1組から8組までの1グループ8人のクラス対抗戦で競われました。全員の獲得枚数の合計



が多いクラスと、個人で獲得枚数が多い生徒が表彰されました。団体の部は、6組が優勝し、個人の部は81枚獲得した4組の鎌田千優さんが1位となりました。参加した1年生は、みんな本当に楽しそうに競っていました。

◇3年生の美術作品が展示されています！

体育館に向かう2階渡り廊下に美術作品を飾るギャラリーがあります。今月は3年生の選択科目「美術総合研究」の授業で制作した作品が展示されています。どれもオリジナリティに溢れた素晴らしい作品ばかりです。その中でも“Make each minute count!” 「1分1分を大切に」という校長のモットーを作品にしてくれた生徒がいました。何だかとっても嬉しいですね。



<和国生頑張っています！>

少林寺拳法部 関東選抜大会 女子規定組演武 1位2位独占！

- 女子規定組演武 1位：熊木咲(1-1)・名田珠希(1-2) 2位：多田梓(1-3)・千葉優莉香(1-6)
規定単独演武 5位 坂巻杏奈(1-6)
自由組演武 4位 高林亜衣(2-1)・井上心(2-2)
団体演武 5位 高林亜衣(2-1)・井上心(2-2)・堀田実那(2-3)・角祐美子(2-8)・
増田ゆら(2-8)・岩渕花(1-5)・盛下歩乃花(2-8)・長谷場玲美(2-3)

女子硬式テニス部 新人大会西部地区大会

- シングルス 5位 那須涼蘭(2-1)
ダブルス 5位 那須涼蘭(2-1)・岡本明咲(2-4)
団体戦1部 優勝 那須涼蘭(2-1)・岡本明咲(2-4)・松原好優(1-2)・任秀佳(2-5)

吹奏楽部 中学生・高校生アンサンブルコンテスト 金賞3組 銀賞1組 埼玉県アンサンブルコンテスト

- 地区大会 金賞 フルート三重奏、クラリネット三重奏
県大会 金賞 クラリネット三重奏 大下藍(2-6)・佐藤愛(1-2)・中西美咲(1-5)

美術部 埼玉県高校美術展

- 優秀賞 辻出瑚心(1-4) 奨励賞 岡村望結(2-4)



シリーズ『和国生へのメッセージ』



外国語学習で世界と繋がろう

外国語科学科長 山崎 勝

和国が世界と繋がっていると実感した経験は、東日本大震災の時でした。当時はオーストラリア、フランス、ドイツに交流校がありましたが、海外で報道されるニュース映像は、被災地の壊滅的な被害を伝えるもので、見舞いのメールで、たいへん心配していただきました。3月中旬には、和国生がフランスとドイツへの派遣事業に出発しましたが、成田空港に向かう電車は余震のため止まり、飛行機も午前便の出発が夕方になってしまいました。訪問先のドイツでは原発のデモ行進が行われていました。4月になり、「異文化理解」の授業では「エネルギー問題」を扱っていましたが、授業中にも余震がありました。英語のニュースでrolling blackout(計画停電)という表現を学び、日本在住の外国人向けの防災情報を英語で聞きました。原発事故の報道でmeltdown(原子炉の炉心溶融)が理解できず、化学の先生に講義してもらいました。理科の知識がないと英語が読めないと実感したものでした。

Pay attention to the detail! 「細部にこだわれ」